

ご挨拶

財団法人愛媛県体育協会会長 大 亀 孝 裕

愛媛県体育協会では、近代俳句の改革者であります正岡子規が野球殿堂入りをしたことを記念して、平成十四年に「えひめスポーツ俳句大賞」を創設しました。関係の方々のお力添えにより本年で五回目を迎えることができましたことを心から感謝申し上げます。この「スポーツ俳句大賞」は、スポーツに接して得られる感動やときめき、共感を俳句に詠み込むことによりスポーツへの関心を高めていただくとともに、スポーツと文化の融合を目指すものとしてスタートいたしました。当初から私どもの予想を上回る応募があり、誠に喜ばしい限りであります。

今回は、従来の五十競技の分類を整理統合し、十三の競技グループにまとめることによって、投句数の少ない種目をなくすとともに応募のしやすさにも配慮いたしました。応募いただいた俳句は一般の部で二千四百九十三句、ジュニアの部で二千五百四十八句、ハイブリッド（写真俳句）部門は百十二点と、ハイブリッド部門は過去最高の応募数となりました。地域的には全国三十八都道府県から応募があり、愛媛からの情報発信という意味で観光面の効果も期待できる広がりをもってきております。また、今回から大賞に対しては道後・有名旅館のペア宿泊券、金賞に対しては報道関係賞、入賞者全員に松山銘菓を贈呈していただくことになりました。これは、関係各社のご協力の賜物であり、改めて心から感謝申し上げます。

毎年のことではありますが「えひめスポーツ俳句大賞」に投句されました作品はいずれも甲乙つけがたく、審査員の先生方のご苦勞が拝察されます。そういった中で、見事、賞に輝かれました皆様方に心から敬意を表し、お祝い申し上げます。これを機に、全国のスポーツファンおよび俳句や写真俳句愛好者の皆様には、俳句王国・愛媛発の「スポーツ俳句」を楽しんでいただきますとともに、いろいろなスポーツの現場に足を運ばれて躍動感あふれる作品をお寄せいただきたいと思っております。

最後になりましたが、愛媛県俳句協会をはじめ共催・協賛・後援をいただきました団体・企業等におかれましては、今後とも「えひめスポーツ俳句大賞」への温かいご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。ご挨拶いたします。